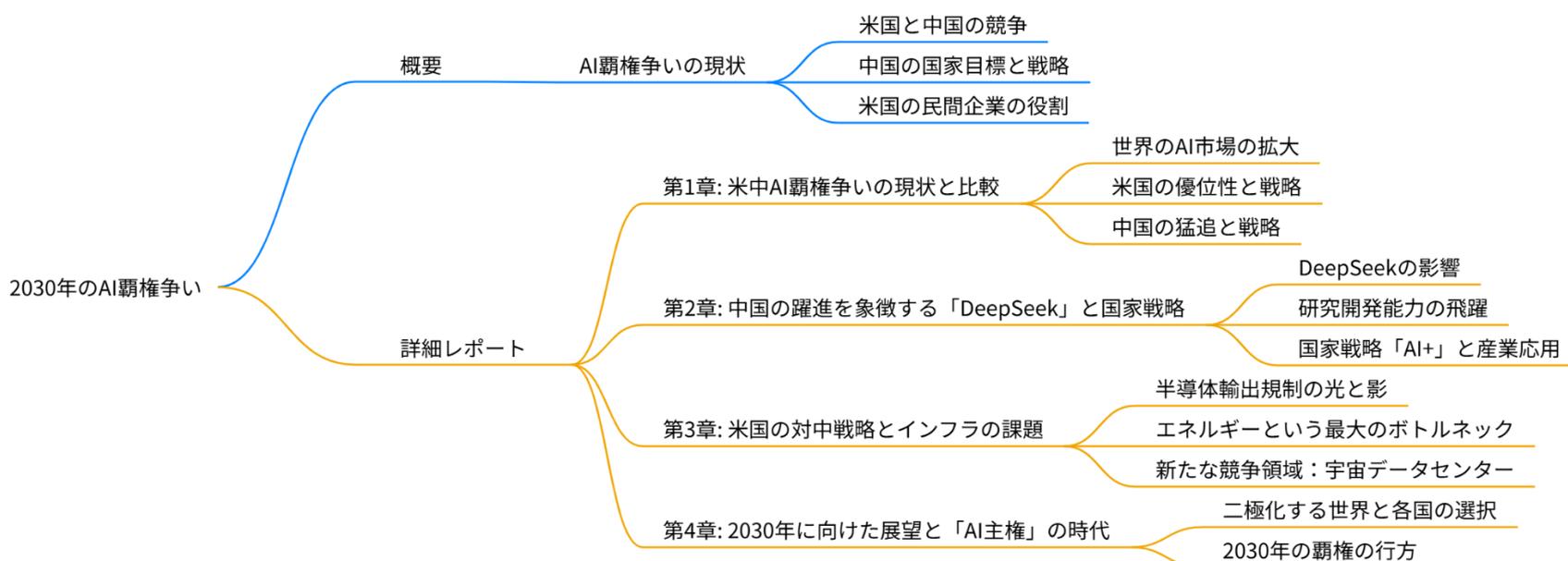


2030年、AI覇権は米中どちらの手に？

Felo AI



概要

2030年を見据えた人工知能（AI）分野の覇権争いは、米国と中国の二大国間で激化の一途をたどっている。長らく米国が技術革新をリードしてきたが、中国が国家主導の強力な支援策を背景に、研究開発、特許出願、スタートアップ育成の各分野で猛追し、一部では米国を凌駕する勢いを見せている [7 10 16](#)。特に 2025 年に登場した中国の AI スタートアップ「DeepSeek」は、その性能の高さから西側諸国に「スプートニク・モーメント」と称されるほどの衝撃を与え、従来の「中国は応用が得意だが、革新では劣る」という見方を覆した [10 14](#)。

中国は「2030年までに AI で世界のリーダーになる」という国家目標を掲げ、豊富なデータ、急増する研究開発費、そして「AI+」と呼ばれる国家戦略を推進力としている [7 53](#)。論文数や生成 AI の特許出願件数では既に米国を上回っており、清華大学などのトップ研究機関は、世界の AI 研究を牽引する存在となっている [1 6 19](#)。

一方、米国は OpenAI や Google といった民間企業が最先端モデル開発を主導し、AI 分野への投資額でも中国を大きく引き離している [15 70](#)。しかし、AI データセンターの爆発的な電力需要に対するインフラの脆弱性や、連邦政府と州政府

間での AI 規制を巡る対立といった国内課題も抱えている [5 22 31](#)。また、中国の技術的台頭を警戒して実施した先端半導体の輸出規制は、かえって中国の国産化を促すという皮肉な結果も生んでいる [38](#)。

この覇権争いは、半導体やソフトウェアといった従来の領域にとどまらず、データセンターのエネルギー効率を左右する電力インフラ、さらには宇宙空間でのデータセンター構築といった新たなフロンティアへと拡大している [4 22 40](#)。最終的にどちらが覇権を握るかは、技術革新のスピード、インフラの安定性、規制環境、そして国際的な同盟戦略など、複数の要因が複雑に絡み合って決まる。現時点では、両国がそれぞれの強みを持つ「二極世界」が形成されつつあると見るのが妥当であろう [25](#)。

詳細レポート

第 1 章: 米中 AI 覇権争いの現状と比較

世界の AI 市場は急拡大を続けており、2026 年の 3,760 億ドルから 2034 年には 2 兆 4,800 億ドルに達すると予測されている [7](#)。この巨大市場の主導権を巡り、米国と中国は技術開発、インフラ整備、人材獲得、そして規制の枠組み作りにおいて熾烈な競争を繰り広げている。



米国の優位性と戦略

米国は、自由な民間競争を土台としたイノベーションエコシステムを強みとしている [27](#)。OpenAI、Google、Microsoft といった巨大テック企業が最先端の大規模言語モデル（LLM）開発を牽引し、世界の AI 技術の方向性を形作ってきた [70](#)。2024 年における民間 AI 投資額は 1,091 億ドルに達し、中国の 93 億ドルを 10 倍以上も上回っている [15](#)。また、先進的な AI モデルの開発数においても、2024 年に米国が 40 モデルを生産したのに対し、中国は 15 モデルにとどまり、米国が世界をリードしている [15](#)。

米国の戦略は、AI 開発に必要な半導体や重要鉱物のサプライチェーンを同盟国と共に強化し、中国への技術流出を防ぐことにも重点を置いている [20 50](#)。しかし、国内では AI データセンターの急増による電力不足が深刻な課題となっており、これが今後の成長の足かせになる可能性が指摘されている [22 31 91](#)。

中国の猛追と戦略

中国は、国家が強力に AI 開発を後押しする体制を構築している [7](#)。習近平国家主席は 2030 年までに AI 分野で世界をリードするという目標を掲げ、第 15 次 5 カ年計画（2026-2030 年）では科学技術の「自立自強」と「AI+」行動戦略が中心に据えられた [7 17 53](#)。この戦略は、製造、物流、エネルギーなどあらゆる産業に AI を統合し、経済全体のスマート化を目指すものである [81 85 105](#)。

この国家戦略の下、中国は研究開発で目覚ましい成果を上げている。

指標	中国	米国
生成 AI 特許出願数 (過去 10 年)	38,210 件 (全体の約 7 割)	6,276 件
トップ AI 学会論文著者数 (2024 年)	8,491 人 (世界 2 位)	14,766 人 (世界 1 位)
AI ユニコーン企業数 (2025 年時点)	70-75 社 (世界 2 位)	約 160 社 (世界 1 位)

*出典: WIPO, 日本経済新聞, フロスト&サリバン [6 7 37](#) *

論文の数だけでなく質においても中国は米国を猛追しており、引用数の多いトップ 10%の論文数で 2019 年に米国を逆転した [33](#)。また、生成 AI に関する特許出願数では、過去 10 年間で米国に約 6 倍の差をつけており、量的な面では圧倒的な優位を築いている [19 28 37](#)。

第 2 章: 中国の躍進を象徴する「DeepSeek」と国家戦略

2025 年初頭、中国の AI スタートアップ「DeepSeek」が発表したモデルは、その高い性能で世界の AI 業界に衝撃を与え

た [10](#)。OpenAI の CEO サム・アルトマンが「見事なモデル」と評し、Microsoft の CEO サティア・ナデラも「OpenAI に匹敵するシステムを初めて見た」と語るなど、中国が単なる追随者ではなく、米国と並ぶ競争相手であることを明確に示した [10](#)。この出来事は、ソ連の人工衛星打ち上げが米国の宇宙開発を加速させた歴史になぞらえ、「スプートニク・モーメント」と呼ばれている [10 96](#)。

研究開発能力の飛躍

DeepSeek の台頭は、中国の AI 研究開発能力が飛躍的に向上したことの証左である。

- **トップ大学の貢献:** 清華大学は、トップ AI 学会での論文著者数で Google に次ぐ世界第 2 位にランクインし、ハーバード大学や MIT を凌駕している [1 6 24](#)。北京大学や浙江大学などもトップ 10 入りを果たしており、学界がイノベーションの源泉となっている [6](#)。
- **論文の質と量:** 2021 年時点で、中国の AI 関連論文数は米国の約 2 倍に達し、引用数の多い注目論文数でも米国を 7 割上回るなど、質・量ともに世界トップレベルにある [33 59](#)。
- **特許出願の独走:** 生成 AI 分野の特許出願では、テンセントやバイドゥといった中国企業が上位を独占しており、国家としてこの分野に注力していることがうかがえる [37](#)。

国家戦略「AI+」と産業応用

中国の強みは、研究開発の成果を社会実装へと迅速に繋げる国家主導の体制にある。2024 年に初めて政府活動報告に盛り込まれた「AI+」イニシアチブは、2030 年までに AI 関連産業の規模を 220 兆円以上に拡大することを目指している [53 56 93](#)。

- **産業への浸透:** スマートシティ、顔認識、自動運転タクシー、工場の自動化といった AI の商業応用では、中国はすでに米国を上回っているとの見方もある [10](#)。
- **巨大テック企業の役割:** バイドゥ、アリババ、テンセント (BAT) は、それぞれが独自の LLM を開発・商用化すると同時に、AI スタートアップへの大規模投資も行っている [7](#)。アリババは AGI (汎用人工知能) に 3 年間で 530 億ドルを投じる計画を発表している [7](#)。

第 3 章: 米国の対中戦略とインフラの課題

中国の急速な台頭に対し、米国は安全保障上の懸念から、先端技術へのアクセスを制限する戦略をとってきた。しかし、その戦略は意図せざる結果も生み出しており、同時に国内のインフラ問題というアキレス腱も露呈している。

半導体輸出規制の光と影

AI モデルの学習に不可欠な高性能 GPU (画像処理半導体) 市場を独占する NVIDIA などの米国企業に対し、米政府は最先端製品の対中輸出を厳しく制限してきた [38 47 64](#)。

- **規制の狙い:** AI 技術の軍事転用を防ぎ、中国の技術開発のペースを遅らせることが主な目的である [38 60](#)。
- **逆効果と国産化の加速:** この規制は、中国市場という巨大な収益源を米国企業から奪う一方で、ファーウェイ

(Huawei) のような国内企業がその空白を埋める機会を与えた [38](#)。ファーウェイ傘下のハイシリコンが開発した AI プロセッサ「昇騰 (Ascend) 910B」は、NVIDIA の中国向けダウングレード版に匹敵する性能を持つとされ、米国の規制が中国の半導体自給自足への道を加速させる結果となっている [38](#)。

- **方針転換と「管理された相互依存」**: 2026 年 1 月、トランプ政権は方針を転換し、NVIDIA の「H200」など一部の準最新チップについて、25%の関税などの厳しい条件下で輸出を許可した [2](#)。これは、中国の技術発展を管理しつつ、そこから利益を得て米国の研究開発に還元するという、より現実的な「管理された相互依存」関係への移行を示唆している [2](#)。

エネルギーという最大のボトルネック

AI 開発競争における米国の最大の障害は、半導体ではなく「電力」であると指摘されている [31](#)。

- **急増する電力需要**: AI データセンターは膨大な電力を消費し、2030 年までに米国の総電力需要に占める割合は現在の約 6%から 2 倍以上に増加する可能性がある [31](#) [49](#) [79](#)。米国の電力網はすでに限界に近づいており、新たなデータセンターの建設が電力供給の制約によって遅れる事態も発生している [31](#) [91](#)。
- **中国のエネルギー優位性**: 対照的に、中国は国家主導でエネルギーインフラを整備しており、データセンターは米国よりも安価で安定した電力供給を受けられる [18](#) [22](#) [83](#)。再生可能エネルギーの導入も積極的に進めており、エネルギー安全保障を AI 戦略の基盤と位置づけている [18](#) [43](#)。NVIDIA のジェンスン・フアン CEO は、中国政府の補助金により「電力はタダみたいなものだ」と述べている [31](#)。

新たな競争領域：宇宙データセンター

地上での電力、水、土地の制約を克服するため、米中の競争は宇宙空間へと拡大しつつある [4](#)。

- **宇宙データセンター構想**: 衛星軌道にデータセンターを構築し、無限に近い太陽光エネルギーを利用する構想である [4](#)。米国では Google や SpaceX、中国では国営企業がこの分野への参入を計画しており、AI 覇権の新たな舞台となっている [4](#) [40](#)。

第 4 章: 2030 年に向けた展望と「AI 主権」の時代

米中の覇権争いが深化する中で、世界各国はどちらかの技術圏に依存することへの危機感を強めており、「AI 主権 (Sovereign AI)」という概念が地政学的な重要性を増している [23](#) [112](#) [114](#)。これは、自国のデータを国内で管理し、外国に依存せずに独自の AI 基盤を構築・運用する能力を指す [25](#) [117](#)。

二極化する世界と各国の選択

- **米国の同盟戦略**: 米国は、自国の AI 技術スタックを日本などの友好国に提供し、サプライチェーンを強化することで、中国に対抗する技術同盟の構築を目指している [20](#) [50](#)。
- **中国の影響力拡大**: 中国もまた、自国の AI 技術やプラットフォームを世界に展開し、影響力を拡大しようとしている [14](#)。

- **第三極の模索:** フランスのマクロン大統領のように、米中に依存する「デジタルの家臣」になることを避け、独自の道を模索する動きも出ている [23 115](#)。

2030年の覇権の行方

2030年までにどちらがAI覇権を握るかについては、専門家の間でも見方が分かれています。

- **中国優位論:** 国家主導の強力な推進力、豊富なデータと人材、エネルギー面の優位性を理由に、中国が米国を追い抜く可能性を指摘する声は多い [14 22 35](#)。
- **米国優位論:** 最先端モデル開発におけるリード、活発な民間投資、そして同盟国との連携を強みとして、米国が優位を維持するという見方も根強い [100 108](#)。
- **共存と競争:** 最終的には、一方が他方を完全に圧倒するのではなく、米国がサービスや最先端研究で、中国が産業応用や特定分野で強みを持つといった形で、新たな「二極世界」が形成される可能性が高い [25 84](#)。

この競争は、単なる技術的な優劣を決めるだけでなく、経済成長の源泉 [21](#)、雇用の未来 [30](#)、そして国家の安全保障 [60](#) を左右する。2030年に向けて、米中両国の戦略と、それを取り巻く国際環境の変化が、21世紀の世界秩序を形作っていくことになるだろう。

1. [AI 超大国へ、中国が米国猛追ー清華大の特許数、ハーバードや MIT 凌駕](#)
2. [米国が AI チップの対中輸出を再開 米中は「管理された相互依存」に](#)
3. [【米国株動向】 2030年までに 10 倍の成長が見込まれるエージェント ...](#)
4. [宇宙にデータセンター構築、米中の競争激化 AI 覇権の新たな舞台に](#)
5. [米国 AI 規制、連邦 vs. 州の戦いが激化——2026 年は法廷闘争へ](#)
6. [中国進逼美国！全球頂尖 AI 論文作者数清華僅次谷歌 — Yahoo 財經](#)
7. [2030 年、AI 覇権は米中どちらの手に？ 習近平が国家予算を投じて ...](#)
8. [中国製 AI が米国席卷、買い物の 21% が AI 経由に...MIT 編集部が予測 ...](#)
9. [2030 年、AI 覇権は米中どちらの手に？ 習近平が国家予算を投じて ...](#)
10. [2030 年、AI 覇権は米中どちらの手に？ 習近平が国家予算を投じて ...](#)
11. [引き続き AI ブームで急増、米中摩擦&規制で揺れた半導体市場：2025 年](#)
12. [OpenAI が描く 2030 年の巨額インフラ戦略：ARR200 億ドルと 1.4 兆 ...](#)
13. [AI 覇権争う米中、データセンター建設競う...アメリカは民間主導 ...](#)
14. [米中覇権争いは「AI 技術」で勝負が決まる 過去の産業革命に見る ...](#)
15. [史丹佛大學 AI 指數報告：中國 AI 論文及專利數量最多 — iThome](#)
16. [2030 年、AI 覇権は米中どちらの手に？ 習近平が国家予算を投じて ...](#)
17. [〈全人代 2026〉中国、「脱米国」鮮明に ハイテク分野 — NIKKEI](#)
18. [中国、エネルギーを武器に AI 覇権を狙う — Deloitte](#)
19. [ぶっちぎりの中国 生成 AI 特許出願数で独走 1 位 2 位の米国引き離す ...](#)

20. [米国務省次官 “AI 開発サプライチェーン強化 日本などと連携”](#)
21. [IBM 調査: AI は 2030 年に向けて、継続的な事業成長をけん引する存在 ...](#)
22. [AI を巡る米中の覇権争い、中国が有利だと言えるこれだけの理由](#)
23. [米中主導の AI 時代、各国に広がる危機感—デジタル主権どう守る](#)
24. [最前沿的 AI 論文、中国緊追美国 — 日經中文網](#)
25. [【寄稿】米中 AI 覇権争い、新「二極世界」へ](#)
26. [500 億ドル規模の巨大企業を育成し、米国をターゲットとする中国の ...](#)
27. [米中欧の AI 覇権と日本の選択肢 ~AI 後進国からの脱却戦略~ | 柏村 祐](#)
28. [アメリカ vs 中国の AI 競争 | 投資・論文・特許から読む最新動向](#)
29. [米中・アジアでサプライチェーンは複線化する 不可逆な分断の時代へ](#)
30. [2030 年までに米国の雇用の 6%が AI に置換か—注視すべきは「生産性 ...](#)
31. [AI でアメリカが中国に敗れる可能性も... 「最大の障害は電力」と ...](#)
32. [【寄稿】米中 AI 覇権争い、新「二極世界」へ — WSJ](#)
33. [日媒：中国 AI 研究論文質量已大幅超過美国 | 科技 | 中央社 CNA](#)
34. [AI 覇権は米中どちらの手に? 習近平が国家予算を投じてもくろむ「AI ...](#)
35. [2026 年の大予測：AI 覇権は中国へ移り、米国のテック企業は衰退する](#)
36. [中国が 2030 年までに「米国を AI 大国の座から追い落とす」と米の ...](#)
37. [生成 AI 特許出願は中国が 7 割、2 位米国を大きく引き離す 3 万 ...](#)
38. [米国の AI 半導体輸出規制、中国の国産化を加速させる皮肉 巨大な ...](#)
39. [マッキンゼー警告、AI 投資に懸念。2030 年までに 7.9 兆ドル規模も ...](#)
40. [【軌道上データセンターの衝撃】米テックと中国が宇宙で AI 競争](#)
41. [米中が 65%を握る AI 投資競争、日本が選ぶべき「第 3 の道」](#)
42. [中国 AI 論文数量世界居首、美国 AI 系統遥遥领先 — 中国科学院院刊](#)
43. [中国、2030 年までにエネルギー分野の AI 応用で世界のリーダーを ...](#)
44. [中国の AI スタートアップが相次ぎ上場、競争は新たな段階へ](#)
45. [中国が今後のアメリカとの対立見据えた「5 か年計画」 “2030 年に AI ...](#)
46. [世界の 2024 年特許出願数が最多更新 中国、米国に次いで日本は 3 位](#)
47. [米国、AI 半導体の対中輸出制限“再強化”の行方 サプライチェーン再 ...](#)
48. [投資戦略マンスリーインサイト：米国産業の復活、クラウド AI](#)
49. [米国の人工知能 \(AI\) 最適化データセンター市場規模・シェア](#)
50. [米国 AI 主権戦略と技術スタック輸出：2026 年新国家戦略の全貌](#)
51. [全球 AI 論文数量十年激増近三倍 — hkcna.hk](#)

52. [AI 覇権争いに新局面、グーグルの「逆襲」とオープン AI の「焦燥」](#)
53. [中国、AI 産業 200 兆円規模へ 2030 年、経済閣僚が戦略示す](#)
54. [生成 AI 特許出願で中国首位 米国の 6 倍：国連報告書 - JBpress](#)
55. [米台関税、「25%の衝撃」から一転して「除外」へ 半導体・AI ...](#)
56. [中国が今後のアメリカとの対立見据えた「5 か年計画」 “2030 年に AI ...](#)
57. [米国政府が NVIDIA の最高性能人工知能 \(AI\) 半導体が中国に密搬入され ...](#)
58. [2026 年超予測：米中の AI 競争。中国が勝つ理由 - PIVOT](#)
59. [AI 研究領域中国論文数量和质量超美国，成为冠军 - 世界互联网大会](#)
60. [激化する AI を巡る米中の覇権争い | 野村総合研究所 \(NRI\)](#)
61. [生成 AI の特許出願件数、中国が 3.8 万件で圧倒的トップ 米国の 6 倍](#)
62. [米中対立が対米サプライチェーンに与えた影響 - 特集 - ジェトロ](#)
63. [「AI は決してバブルではない」 半導体とロボティクスの長期投資戦略](#)
64. [AI データセンターをめぐる「循環構造」と米中技術覇権の最前線](#)
65. [【日米台 vs 中国 17 社】 AI 覇権戦争を大図解！日本の AI 後進国ぶりが ...](#)
66. [2025 年人工智慧指標報告 - 主要國家人工智慧發展趨勢](#)
67. [数の米国、攻める中国 AI 特許 6 万件を解剖 - 日経ビジュアルデータ](#)
68. [米が対中半導体規制を強化 - AI メモリーや製造装置へのアクセス ...](#)
69. [人間と同等かそれ以上の知的能力を持つ AGI \(汎用人工知能\) の登場 ...](#)
70. [AI 戦略で米中が激突、技術・インフラ・人材で覇権争い - QuickTake](#)
71. [【2026 年の世界経済】 投資競争が AI から全方位に - JBpress](#)
72. [全球 AI 論文数 10 年激増近 3 倍，复旦与自然集团发布《科学智能白皮书》](#)
73. [中国企業の排除拡大、米半導体業界サプライチェーン | WSJ PickUp](#)
74. [AI 研究「中美兩極對立」 陸論文量緊咬美外媒揭優勢 - 工商時報](#)
75. [How will the United States and China power the AI race? | Brookings](#)
76. [Kei Koizumi on the U.S. - China AI Competition](#)
77. [China intensifies push to become world leader in tech and AI - Nature](#)
78. [Mystery AI model revealed to be Xiaomi's following suspicions it was ...](#)
79. [China's Secret Superpower in the AI Race - Bloomberg.com](#)
80. [The Complicated Stakes of the AI Race Between the U.S. and China](#)
81. [China's largest provincial economy vows to reshape industry with AI](#)
82. [DeepSeek V4 2026 AI Model Review: Redefining LLM Expectations](#)
83. [China vs U.S.: Race to Generate Power for AI Data Centers as ...](#)

84. [The U.S. and China Are Pursuing Different AI Futures — IEEE Spectrum](#)
85. [China is running multiple AI races — Brookings Institution](#)
86. [DeepSeek V4: The Most Anticipated AI Model of 2026 Still Hasn't ...](#)
87. [Why the U.S. is losing the AI energy race to China — Marketplace](#)
88. [China AI industry looks unstoppable, but is it? | CNN Business](#)
89. [China's next five—year bet on AI: Self—reliance, diffusion, and a lot of ...](#)
90. [For those waiting for the new model release : r/DeepSeek — Reddit](#)
91. [US AI boom faces electric shock | Reuters](#)
92. [China's tech giants pursue AI, semiconductor talent in US as ...](#)
93. [China's AI push shaping a burgeoning 'smart economy' — China SCIO](#)
94. [DeepSeek V4 Release Date \(2026\) : Latest News, Specs & What to ...](#)
95. [Power Hungry: How The AI Boom Is Forcing A Clean Energy ...](#)
96. [DeepSeek Moment, One Year Later: The State of U.S.—China AI ...](#)
97. [China's 5—year plan emphasises 'orderly' AI development amid ...](#)
98. [Everything We Know — Specs, Benchmarks & Release Date \(2026\)](#)
99. [America must power AI with speed and discipline — or China will ...](#)
100. [Who Is Leading the Global AI Race? | Morgan Stanley](#)
101. [China's Five Year Plan commits to economic resilience](#)
102. [DeepSeek V4 Targets Coding Dominance with Mid—February — Introl](#)
103. [AI's power problem: US tech giants seek grid solutions while China ...](#)
104. [US AI Strategy vs China: Multiple Races, Not a Single Finish Line](#)
105. [Industrial AI: AI Plays a Central Role in China's New Five—Year Plan](#)
106. [AI 2026: China's DeepSeek Cuts Compute Needed For Artificial ...](#)
107. [AI Demand to Drive \\$600B From the Big Five for GPU and Data ...](#)
108. [Where is the US—China AI 'race' heading in 2026? — DW News](#)
109. [China issues guideline to accelerate 'AI Plus' integration across key ...](#)
110. [Inside DeepSeek's End—of—Year AI Breakthrough: What the New ...](#)
111. [AI, Data Centers, and the U.S. Electric Grid: A Watershed Moment](#)
112. [Eight ways AI will shape geopolitics in 2026 — Atlantic Council](#)
113. [AI Market Trends 2026: Global Investment, Risks, and Buildout](#)
114. [How AI can balance competitiveness and digital sovereignty](#)
115. [Navigating the global battle over AI independence — WP Intelligence](#)
116. [Gartner Says Worldwide AI Spending Will Total \\$2.5 Trillion in 2026](#)

117. [Everyone wants AI sovereignty. No one can truly have it.](#)
118. [A New Economic World Order May Be Based on Sovereign AI and ...](#)
119. [The billion-dollar infrastructure deals powering the AI boom](#)
120. [Visions 2026: Five key digital sovereignty insights — SoftwareOne](#)
121. [Calling All Tech Diplomats: The Geopolitics of AI in a New World Order](#)
122. [Delivering Power at Scale; AI Governance in Insurance; and 2026 ...](#)
123. [Meeting the challenge of digital sovereignty amid uncertain times — CIO](#)
124. [How middle powers can weather US and Chinese AI dominance](#)
125. [How AI Will Shape Cloud Services And Infrastructure In 2026 — Forbes](#)
126. [Sovereignty — AI Now Institute](#)
127. [Artificial Intelligence and the Great Divergence — The White House](#)
128. [The Next Phase of AI: Technology, Infrastructure, and Policy in 2025 ...](#)
129. [AI, Efficiency and Sovereignty: What the Tech Trends of 2026 Mean ...](#)
130. [The geopolitical fragmentation of artificial intelligence — Geographical](#)
131. [The Fed — The Global Trade Effects of the AI Infrastructure Boom](#)
132. [The Global Race for AI Sovereignty: Where Does Israel Stand?](#)
133. [How will the United States and China power the AI race? | Brookings](#)
134. [2026 State of AI Infrastructure Report — DDN](#)
135. [The Role of Advanced Technology: Reconfiguring the Post-2026 ...](#)
136. [5 AI—Infrastructure Giants to Buy for 2026 on Massive Data Center ...](#)
137. [Trump's AI Export Plan Could Clash With Global Tech Sovereignty](#)
138. [In 2026, We'll Build the Future of AI—Together — The Equinix Blog](#)